




Numark

MIXTRACK PRO 3

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://numark.jp/>

Numark

 <お問い合わせ>

インミュージックジャパン

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

はじめに

同梱品

Mixtrack Pro 3
 USB ケーブル
 Software Download Card (英文)
 User Guide (英文)
 Safety & Warranty Manual (英文)

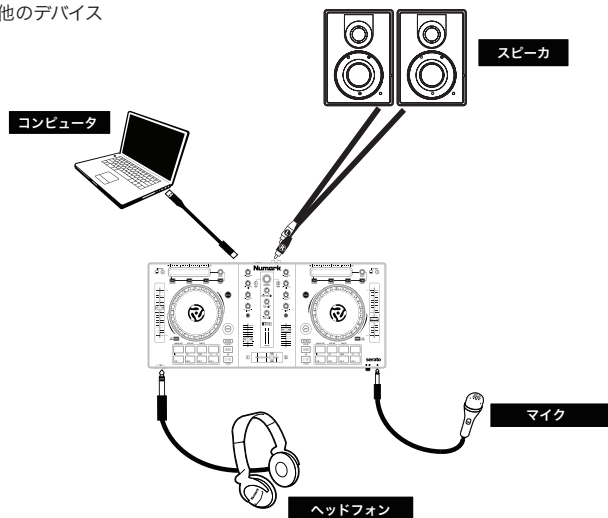
製品サポート

製品の最新情報 (システム要件、互換情報など) につきましては、numark.jp にアクセスしてご確認ください。

また、修理やサポートにつきましては、numark.jp/support/ をご参照ください。

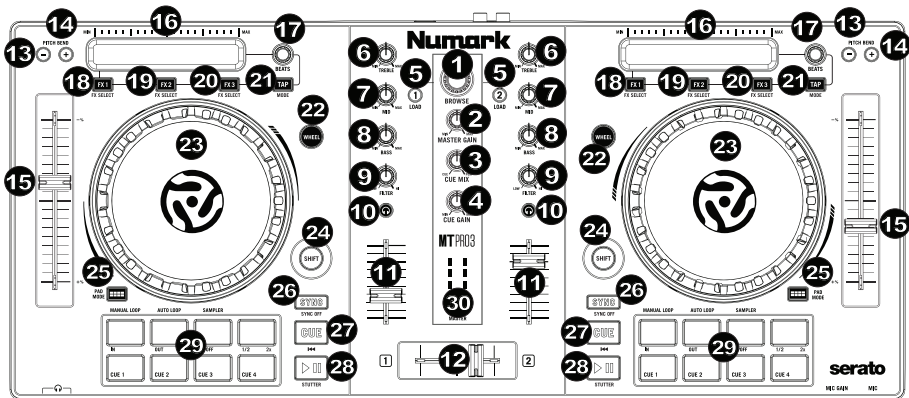
クイック・スタート/ 接続図

- Mixtrack Pro 3 を平らで安定した場所に置いてください。
- すべてのデバイスの電源がオフになっていて、フェーダやゲインが 0 になっていることを確認してください。
- マイクを使用する場合は、Mixtrack Pro3 のマイク入力にマイクを接続してください。
- Mixtrack Pro3 のアウトプットからパワーアンプやテーブデッキ等のオーディオ装置へ接続してください。
- すべてのデバイスの電源をオンにし、付属の USB ケーブルで Mixtrack Pro3 の USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続してください。
- 電源を入れる時は次の順番で電源をオンにしてください。
 - ・ コンピュータ
 - ・ アンプ・スピーカ、その他のデバイス
- 同梱の Serato DJ Intro インストールカードに沿ってソフトウェアをダウンロードし、インストールします。
- ソフトウェアを開き、トラックをロードします。
- DJ をスタートしましょう!
- 電源を切る時は次の順番で電源をオフにしてください。
 - ・ アンプ・スピーカ、その他のデバイス
 - ・ コンピュータ



同梱品リストにないものは別売です。

トップパネル

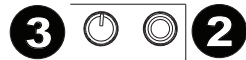
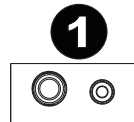


1. **BROWSER**：このノブを回してフォルダやトラックをブラウズします。ライブラリの一つ中の階層へ進む場合はノブを押します。
2. **MASTER GAIN**：ソフトウェアのマスタボリュームを調整します。
注意：このコントロールは Mixtrack Pro 3 に接続しているマイクのボリュームには影響しません。マイクのボリュームは MIC GAIN ノブで調整します。
3. **CUE MIX**：マスタ・アウトプットとキュー・アウトプットのヘッドフォンへの出力バランスを調整します。
4. **CUE GAIN**：ソフトウェアでヘッドフォン・キューへ送っている音量を調整します。
5. **LOAD**：このボタンを押すと、それぞれソフトウェアの Deck 1 または Deck 2へ選択したトラックがアサインされます。
6. **TREBLE**：各チャンネルの高域周波数帯域を調整します。
7. **MID**：各チャンネルの中域周波数帯域を調整します。
8. **LOW**：各チャンネルの低域周波数帯域を調整します。
9. **FILTER**：フィルタエフェクトを調整します。ノブを左に回すとローパスフィルタを、右に回すとハイパスフィルタをかけることができます。
10. **CUE/PFL**：このボタンを押すことで、ヘッドフォンでのモニタリングの為にプリ・フェーダの音声をキューチャンネルへ送ります。
11. **チャンネルボリューム**：ソフトウェア上のそれぞれのチャンネルの音量を調整します。
12. **クロスフェーダ**：2つのデッキのミックス・バランスを調整します。
13. **PITCH BEND -**：押さえ続けることでトラックのスピードを一時的に下げます。
14. **PITCH BEND +**：押さえ続けることでトラックのスピードを一時的に上げます。
15. **ピッチフェーダ**：トラックの速さを調整します。「+」の方向に動かすと速くなり、「-」の方向に動かすと遅くなります。
16. **タッチストリップ**：アサインした FX の Dry/Wet の調整に使います。**SHIFT+Strip Search** でトラックサーチを行います。
17. **BEATS**：このノブで、エフェクトのビート数のレートを増減します。時間に基づいたエフェクトを使用している場合はタイムディビジョンを調整します。
18. **FX 1 On/Off**：FX1 のオン / オフを切り替えます。**SHIFT + FX1** でエフェクトを選択します。
19. **FX 2 On/Off**：FX2 のオン / オフを切り替えます。**SHIFT + FX2** でエフェクトを選択します。
20. **FX 3 On/Off**：FX3 のオン / オフを切り替えます。**SHIFT + FX3** でエフェクトを選択します。

21. **TAP** : このボタンを 4 回以上押すことでマニュアルで BPM が入力できます。トラックの元々のテンポが無視され、マニュアルで入力した BPM に追従します。
22. **WHEEL** : このボタンを有効にすることで、レコードのようにプラッタを使いオーディオ信号を掴んで動かす「スクラッチ」の動作が出来るようになります。
23. **プラッタ / ジョグホイール** : この静電容量方式タッチ・センサのジョグホイールに触れたり動かしたりすることで、オーディオ信号をコントロールします。WHEEL ボタンが無効の場合はピッチバンドとして使えます。WHEEL ボタンが有効の場合は、レコードのようにプラッタを使いオーディオ信号を掴んで動かす「スクラッチ」の動作が出来るようになります。また、タッチ・センシティブではないホイールの外側の部分を動かすことでピッチ調整も可能です。
24. **SHIFT** : 他のボタンと一緒に押すことで、そのボタンのその他の機能が働きます。
25. **PAD MODE** : 上段 4 つのパフォーマンスパッドの機能を変更するのに使用します。
26. **SYNC** : デッキ同士の BPM を同期します。マニュアルで BPM を調整するために SYNC を解除したい場合は、**SHIFT + SYNC** を押します。
27. **CUE (トランスポート・コントロール)** : 現在再生中のトラックのキューポイントの設定、呼び出しができます。CUE ボタンを押したままにすると、設定されたキューポイントから一時的に再生が開始されます。ボタンを押している間は再生され、手を放すと元のキューポイントの地点へ戻ります。**SHIFT + CUE** ボタンでトラックの頭からの再生へとリセットされます。
28. **PLAY/PAUSE** : デッキの再生または一時停止を行います。**SHIFT + PLAY/PAUSE** でトラックで最後に設定したキューポイントからスタック再生します。キューポイントが設定されていない場合は、再生地点はトラックの頭に戻ります。
29. **パフォーマンス・パッド** : 上段の列のパッドはオートループをトリガするのに使用します。下の段のパッドはキューポイント (Hot Cue) をトリガするのに使用します。ロードしたトラックにまだキューポイントが設定されていない場合は、押した地点で新しくキューポイントがマークされます。キューポイントが既に設定されている場合は、設定したキューポイントへジャンプします。
30. **MASTER 出力レベルメータ** : MASTER に出力される音量を表示します。**CUE/PFL** ボタンが押されている場合は、押されているチャンネルの CUE/PFL の音量を表示します。

フロントパネル

1. **ヘッドフォン出力** : 信号をモニタリングするために 1/4" 標準ジャックまたは 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャックのヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンのボリュームは **CUE GAIN** ノブを使って調整します。
2. **MIC 入力** : 1/4" 標準ジャックのダイナミックマイクを接続します。
3. **MIC GAIN** : マイク入力の音量を調整します。



リアパネル

1. **OUTPUT (RCA)** : マスタ出力端子です。標準の RCA ケーブルを使用し、出力するスピーカーやアンプシステムと接続します。
2. **USB 端子** : 様々なパラメータをコントロールするための USB MIDI データを送信します。



パフォーマンス・パッド・モード

パッドの上段の列はモード（マニュアルループ・モード、オートループ・モード、サンプル・モード）により機能が変化します。モードを選択するには、PAD MODE ボタンを押しながら上段のパッドの一つを押さえます。LED が点灯しているパッドが現在選択されているモードを示します。

マニュアルループ・モード：PAD MODE ボタンを押しながら **MANUAL LOOP** と上に書かれているパッドを押すと、上段の 4 つのパッドが次のような機能になります。

- **IN** - ループの開始地点を設定します。Loop Out のポイントを設定したあとこのボタンをもう一度押すと、Loop In のポイントを微調整することができます。
- **OUT** - ループの終了地点を設定します。Loop Out のポイントを設定したあとこのボタンをもう一度押すと、Loop Out のポイントを微調整することができます。
- **ON/OFF** - ループ中にこのボタンを押すと、ループが無効になります。ループの外の地点で押すと、ループが有効になり Loop In のポイントから再生を開始します。ループが設定されていない場合は、押ししても何も効果がありません。
- **1/2** - 現在再生中のループを半分にします。**SHIFT + 1/2** を押すと再生中のループの長さが 2 倍になります。

オートループ・モード：PAD MODE ボタンを押しながら **AUTO LOOP** のパッドを押すと、上段の 4 つのパッドが次のような機能になります。

- **Auto 1** - 1 拍のオートループをセットし再生します。
- **Auto 2** - 2 拍のオートループをセットし再生します。
- **Auto 4** - 4 拍のオートループをセットし再生します。
- **Auto 8** - 8 拍のオートループをセットし再生します。

サンプル・モード：PAD MODE ボタンを押しながら **SAMPLER** と上に書かれているパッドを押すと、上段の 4 つのパッドが次のような機能になります。

- **Sample 1** - Sample Pad 1 にアサインされたサンプルを再生します。
- **Sample 2** - Sample Pad 2 にアサインされたサンプルを再生します。
- **Sample 3** - Sample Pad 3 にアサインされたサンプルを再生します。
- **Sample 4** - Sample Pad 4 にアサインされたサンプルを再生します。

Mixtrack Pro 3とSerato DJ Introでのミキシングについて

Mixtrack Pro 3 と Serato DJ Intro を使用したミックスの一例を紹介します。

1. Mixtrack Pro 3 の **LOAD 1** と **LOAD 2** ボタンを使い Serato DJ Intro のデッキにトラックをロードします。
2. Mixtrack Pro 3 のクロスフェーダを左端に動かします。
3. CUE MIX ノブを PGM 側に回しぎります。
4. Deck 1 にロードしたトラックを再生します。
5. Deck 2 にロードしたトラックを再生し、Deck 1 のトラックの BPM に合わせます。BPM を合わせるには、Mixtrack Pro 3 上の Deck 2 の SYNC ボタンを押します。
6. BPM が合わせられたら、Mixtrack Pro 3 のクロスフェーダを Deck 1 側から Deck 2 側へ移動します。

他のプログラムでのミキシングについて

Mixtrack Pro 3 でデッキ間の BPM シンクをサポートしていない他のソフトウェアを使用する場合は、次のトラックをシンクさせる伝統的な例を試してください。ソフトウェアの両方のデッキから再生されるトラックを耳でモニタリングしながら、ピッチを調整しテンポを合わせます。

1. Deck 1 のトラックを再生します。
2. Deck 2 のトラックを再生します。
3. Deck 2 のトラックをヘッドフォンで聴きます。Deck 2 のビートが Deck 1 より速い場合、ピッチフェーダを「-」側へ動かします。(図 1 を参照)
4. Deck 2 が Deck 1 のビートより遅い場合、ピッチフェーダを「+」側へ動かします(図 2 を参照)。

注意：この手順はどちらのデッキでもできます。

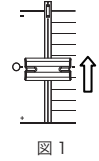


図 1

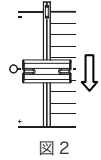


図 2

付録

技術仕様

電源：USB バスパワー

サイズ (W x D x H)：約 23.2 x 55 x 3cm

重量：約 1.9kg

※仕様は断りなく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

商標及びライセンス

Numark は inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

numark.jp